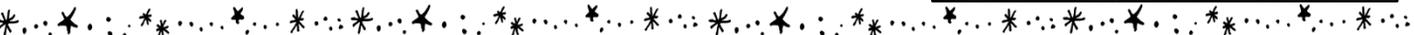




まち協総会を開催しました

5月25日に鳥栖北まちづくり推進センターにおいて、まち協総会を開催しました。

役員を選任と委員の報告、令和4年度の事業報告及び決算、令和5年度の事業計画及び予算について話し合われました。第2期まちづくりプラン初年度として、より良いまちづくりを目指していきたいと思っておりますので、鳥栖北地区の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

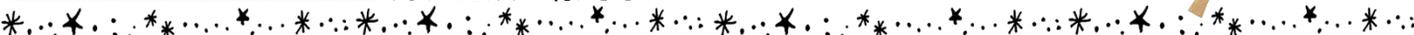


卓球大会を開催しました

6月11日（日）に多目的ホールにおいて、スポーツ協会主催の卓球大会が開催されました。総勢48名が参加し、町区対抗戦と個人ダブルス戦が行われました。



熱戦を制し優勝したのは、町区対抗戦では本町チーム、個人ダブルス戦では松本公二さん・祐子さんペアでした。おめでとうございます。また、暑い中参加して下さいました皆さん、お疲れ様でした。



スポーツ教室を開催しました

6月19日～23日まで、鳥栖北小体育館において室内ペタンクとモルックを体験するスポーツ教室を開催しました。室内ペタンクは、2つのチームが1つの標的に向かってボールを投げ合い、得点を競うゲーム。モルックは木製の円柱の棒（モルック）を投げて倒したスキttl（標的）の内容で点数を競うゲームです。6月25日にモルック大会を開催しましたが、その様子は次号でお知らせいたします。



交通安全 子供自転車大会が開催されました

6月3日（土）に鳥栖市民体育館において、鳥栖三養基地区交通安全協会と鳥栖警察署主催の自転車競技大会が開催され、鳥栖北小からも6年生4名が出場しました。当日は学科テストと技能走行テストが行われ、総合評価で堤海斗くんが見事3位に入賞されました。おめでとうございます！



交通安全指導員として、新たに本町の権藤博文さんが任命されました。子ども達を見守る大変なお仕事ですが、これからよろしくお願いいたします。



7月は、青少年の非行・被害防止全国強調月間です。

7月7日（金）18時から、フレスポ鳥栖入口周辺でのぼり旗を設置し、啓発グッズを配布します。



鳥栖地区まちづくり推進協議会が作成した「鳥栖良かところカルタ（通称64カルタ）」に札として登場する鳥栖市の名所や名物を紹介するコーナーです！
鳥栖良かところカルタは、今を知り、昔を学ぶ地域学習の身近な教材として、家族や地域での世代間ふれあい活動の一助として作られたものです。



今回は「28年水害・舟」「まつり鳥栖」「どろんこ大会」です

28年水害・舟

1953年（昭和28年）の6月24日～29日、「28水」として語り継がれている、鳥栖市最大の豪雨災害が起きました。筑後川、大木川、安良川が決壊し、死者1名、行方不明者1名、流失9棟、浸水705棟以上、また下野町では1カ月冠水するなど、大変な事態をもたらしました。以前は筑後川などで頻繁に起きていた洪水に備えて、牛や家財道具を守るための船を軒下にぶらさげていました。今でも船は現存しており、酒井西町の天満宮などに保管されています。

なぜ「次郎」？
日本三大暴れ川として、利根川を筑紫次郎、吉坂東太郎、筑後川を筑紫次郎、野川を四国三郎と表現されました。



まつり鳥栖

7月30日（日）に開催予定の「まつり鳥栖」。今年は記念すべき50回目となるそうです。ステージイベントや市民パレードの他、中心市街地が歩行者天国となって露店が並び、市をあげて賑わいます。まつり鳥栖実行委員会では、3年以上にも及んだコロナ禍で疲弊した市民の心の憂さを晴らすため、記念事業として「クラウドファンディング」に初挑戦した花火の打上げを計画しているそうです。目標金額100万円に到達し、見事な花火が打ち上げられるといいですね！



どろんこ大会

高田町と安楽寺町、あわせて「たからくじ町」。JA青壮年部によって安楽寺町で開催されるどろんこ大会。コロナ禍でしばらく中止になっていたのですが、今年久し振りに6月25日（日）の9時から開催されます。

子どもも大人も、まさにどろんこになって田んぼの中に入り、サッカーやゲームをしたり、田に放たれたウナギを捕まえたりします。田植え前のこの時期のお楽しみですね。

